

酒田市立中学校部活動改革について～ 地域移行計画 ～

酒田市教育委員会

1 目的 「生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築」と「教員の働き方改革の推進」の両立

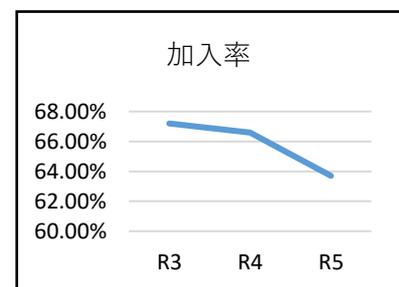
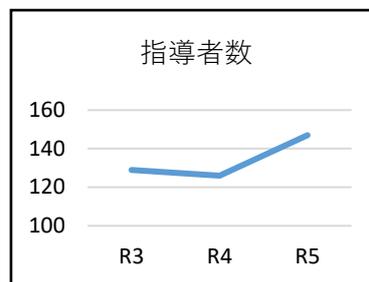
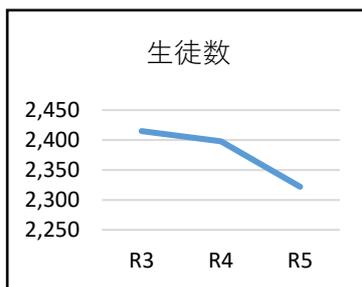
- (1) 自分の希望するスポーツや目標・競技力等に応じた団体を自由に選択できる環境を整備する。
- (2) スポーツを通して生徒と地域のつながりを深め、地域の活性化を図る。
- (3) 教員が休日に部活動指導に携わらないことにより、学校教育活動充実を図る環境を整える。

2 部活動の現状（令和5年度）

生徒数・加入率・指導者数の推移

（過去3年間）

	R3	R4	R5
生徒数	2,415人	2,398人	2,322人
指導者数	129人	126人	147人
加入率	67.20%	66.60%	63.70%



3 クラブ入会に係るメリットとデメリット

<メリット>

- ① 指導者による活動の保障（原則、休日は部活なしの方向）
- ② 責任の所在（クラブ会長・クラブ自体）
- ③ 選択肢の拡大（多岐にわたる種目設定・目的別）
- ④ 種目人数の確保（合同や他地区からの入会による）
- ⑤ 専門的な指導（競技経験者・有資格者・指導経験者）

<デメリット>

- ① 保護者の経済的負担の増加（クラブ費・保険料・交通費等）
- ② 子どもの物理的負担（時間や距離・練習過多）
- ③ 子どもの心的負担（人間関係やトラブル、指導法の違い）

4 移行に係る課題

- ① 移行目的の理解促進（国・県・市）
- ② 人材発掘・育成（人材バンク・講習会・説明会等）
- ③ 組織確立・環境整備（運営主体・活動場所）
- ④ 地域スポーツ団体への対応（クラブ化の可能性）
- ⑤ 部活動指導員への研修や資格取得の促進（公認資格）
- ⑥ スポーツ施設の確保（使用可能な施設）
- ⑦ 会費や保険の支援（指導者の保険、資格取得、謝礼）
- ⑧ 地域のスポーツ大会の見直し（大会の精選、参加資格等の見直し）
- ⑨ 学校部活動の在り方を見直し（生徒主体の活動）
- ⑩ 合同部活動の推進（大会出場名目に限らない合同活動）

5 令和5年度から令和7年度までの具体的取り組み

(1) 部活動改革を検討する組織の設置、具体的な検討

- ・ 関係機関、団体、学校との連携（連絡・調整）
- ・ 説明機会の確保と協力要請

(2) 市における基本的な考え方の確認

- ・ 基本方針「酒田市立中学校部活動改革について」の策定

(3) 生徒、保護者と部活動の現状や課題について共有

- ・ 部活動改革の方向性の周知と実態把握（意識調査）
 - 1) 各中学校（生徒・保護者・教員）・各地区・各団体（協会、連盟等）へ1
 - 2) 周知活動（生徒向けチラシ・保護者向けチラシ）
 - 3) 広報啓発活動（酒田市広報・メディア・ハーバーラジオ・SNS等）
- ・ 実態把握（意識調査）…実態把握（生徒・保護者・教員へのアンケート）

(4) 各中学校や受け皿となり得るクラブ等の現状把握

- ・ 実態把握（学校・クラブ等）と情報交換

(5) 具体的な地域移行のイメージ、移行な困難な種目等の確認

- ・ 部活動の整理・統廃合
- ・ 休日移行できる部活動、平日のみ活動する部活動の整理

(6) 他市町との広域的な連携の検討

- ・ 他校・他学区との連携の検討
- ・ 近隣中学校、遊佐町との合同クラブ、合同部活動、合同チームの模索

(7) 地域移行に向けた手順例や指導者及びクラブの役割等を確認

- ・ 説明会の開催と説明による周知
- ・ 人的配置、人材発掘と育成
- ・ 地域の中心的役割・マネジメント・指導者（継続性・持続可能性）
- ・ 各競技クラブ最低2名の指導者の確保
- ・ 「指導者バンク（仮称）」の作成・管理、指導者認定（市独自化へ入）
- ・ 活動場所の検討・確保…学校施設・公共施設・民間施設等（施設・アラームが課題となる）

(8) 受け皿となるクラブとの調整、新たな運営主体の設立等の確認

- ・ 運営主体（受け皿）となり得る団体・組織の確立
- ・ 各種スポーツクラブ・スポーツ少年団・協会・連盟・スクール等との協議
- ・ 定期的・計画的な「情報交換会・講習会」の開催

(9) 部活動改革に関する政府予算の情報収集・予算確保

- ・ 必要経費の算出・検討、及び財源の確保（会費・保険等）
- ・ 受益者負担についての理解促進
- ・ 協カスポンサー、協賛金、地域企業との連携

(10) その他

- ・ 大会、及びその参加態勢見直しの働きかけ
 - 1) 出場大会の選定（どの大会に出場するのか）
 - 2) 参加体制（どの団体で出場するのか）と参加資格（リーグ分け、登録人数の制限）
 - 3) 文化部における地域移行

6 年次計画

(1) 令和5年度～令和7年度

取り組み事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度
(1)部活動改革を検討する組織の設置、具体的な検討	→	→	→
(2)市における基本的な考え方の確認	→	→	→
(3)生徒、保護者と部活動の現状や課題について共有	→	→	→
(4)各中学校や受け皿となり得るクラブ等の現状把握	→	→	
(5)具体的な地域移行のイメージ、移行な困難な種目等の確認	→	→	
(6)他市町との広域的な連携の検討		→	→
(7)地域移行に向けた手順例や指導者及びクラブの役割等を確認	→	→	
(8)受け皿となるクラブとの調整、新たな運営主体設立等の確認		→	→
(9)部活動改革に関する政府予算の情報収集・予算確保	→	→	→
その他		→	→
※文化部における地域移行		→	→

(2) 令和8年度～

- ・ 休日に活動しているクラブや、競技種目、文化部は、平日の活動の可能性を探る。
- ・ 移行できそうなところは、徐々に活動を平日にまで広げる。

7 予算関係

<令和5年度> 下記事業における国庫補助金による

「部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備」

(スポーツ庁・文化庁)

I. 部活動の地域移行等に向けた実証事業 「指導者の質の保障・量の確保」

- 人材の発掘・マッチング・配置
- 研修、資格取得促進
- 平日・休日の一貫指導

8 今年度の重点課題

重点1：移行目的の理解促進

重点2：人材発掘・育成

重点3：組織確立・物的環境整備

重点1：移行目的の理解促進

- ① 説明資料の配布 … 生徒・保護者・教員・地域・各種団体
- ② 説明会の開催 … 各校、各クラブに出向いて、市教委主催・招集
- ③ 広報活動 … 市HP・市広報・メディア・SNS・ポスター

重点2：人材発掘・育成

- ① 酒田市「スポーツ・文化サポーターバンク」の立ち上げ
- ② サポーター講習会、サポーター募集説明会の開催
- ③ 各団体からの推薦者の集約・依頼

重点3：組織確立・物的環境整備

- ① 既存の総合型地域スポーツクラブへの支援
- ② 新規総合型地域スポーツクラブ立ち上げへの支援
- ③ 保護者会クラブから地域クラブへの移行促進に向けた支援
- ④ 活動場所の確保と調査